

二十三号川の多自然川づくり

～中規模河床形態を踏まえた瀬と淵の創出

および砂礫底の保全による魚類への配慮～

Keywords : 河床低下, 瀬・淵, 中規模河床形態

●現況



砂礫底が喪失し、粘性土が露出

●改修後イメージ



川自身の力で瀬や淵が創出されることを期待（写真は二十三号川上流）

二十三号川は、過去の改修で合流河川である雄信内川とともに、河道が直線化されたことにより、瀬や淵が喪失し、魚類の生息環境に影響を及ぼしている。また河床低下も進行しており、既設橋梁や護岸の根入れ不足による安全性の低下が懸念される。そのため、環境と治水の両方に配慮した改修断面および河床低下対策工の決定方法について報告する。